

位置図・詳細図作成要領

1. 目的

騒音測定地点の状況、環境基準達成度の評価区間を個別・具体的に把握し、全国の集計・シミュレーション、GISを使用したインターネット経由の情報提供及び今後の環境施策の企画等に使用するものです。

2. 提出図面の種類・提出対象者及び方法

① 位置図（騒音測定地点、評価区間）

- ・ 騒音測定地点、評価区間の位置を広域図にて明示する必要があると思われる場合、**任意に提出**（PDF等）して下さい。基本的には、GISデータの提出により、各騒音測定地点、各評価区間の位置がわかりますが、提出いただけると確認作業の効率化に繋がるためご協力をお願いします。

② 詳細図（様式 2-1 で報告された騒音測定地点における平面図・横断図）

（なお、「測定年度」が当該年度（2022年度）の騒音測定地点のみでも可）

- ・ **全ての地方公共団体が提出**して下さい。

本図は、原則として電子媒体（PDF等）による提出をお願いします。

3. 作成要領

① 位置図（騒音測定地点、評価区間）※

※ 2 ①に示すとおり、提出は任意

- (1) 「騒音測定地点」と「評価区間」の位置は、同一図面に記して下さい。
 - (2) 縮尺は 1:50,000 とし、A 4 版サイズに揃えて下さい。
（図面が大きい場合は、分割して構いません）
 - (3) 「騒音測定地点」と、それに対応する様式 2-1 「1. 騒音測定地点番号」を記して下さい。
 - (4) 「評価区間」と、それに対応する様式 1-1 「4. 評価区間番号」を記して下さい。
- 作成例を、別頁に示します。

② 詳細図（騒音測定地点の平面図・横断図）

平面図と横断図

- ・ 騒音測定地点ごとに、平面図と横断図を同一図面に記して下さい。
- ・ A 4 版として下さい。
- ・ 可能な限り 1 ページに 2 地点掲載する構成をお願いします。（作成例参照）
- ・ 電子データ（ただし全部併せて 2MB 以下程度の PDF ファイル等）による提出可。

(1) 平面図

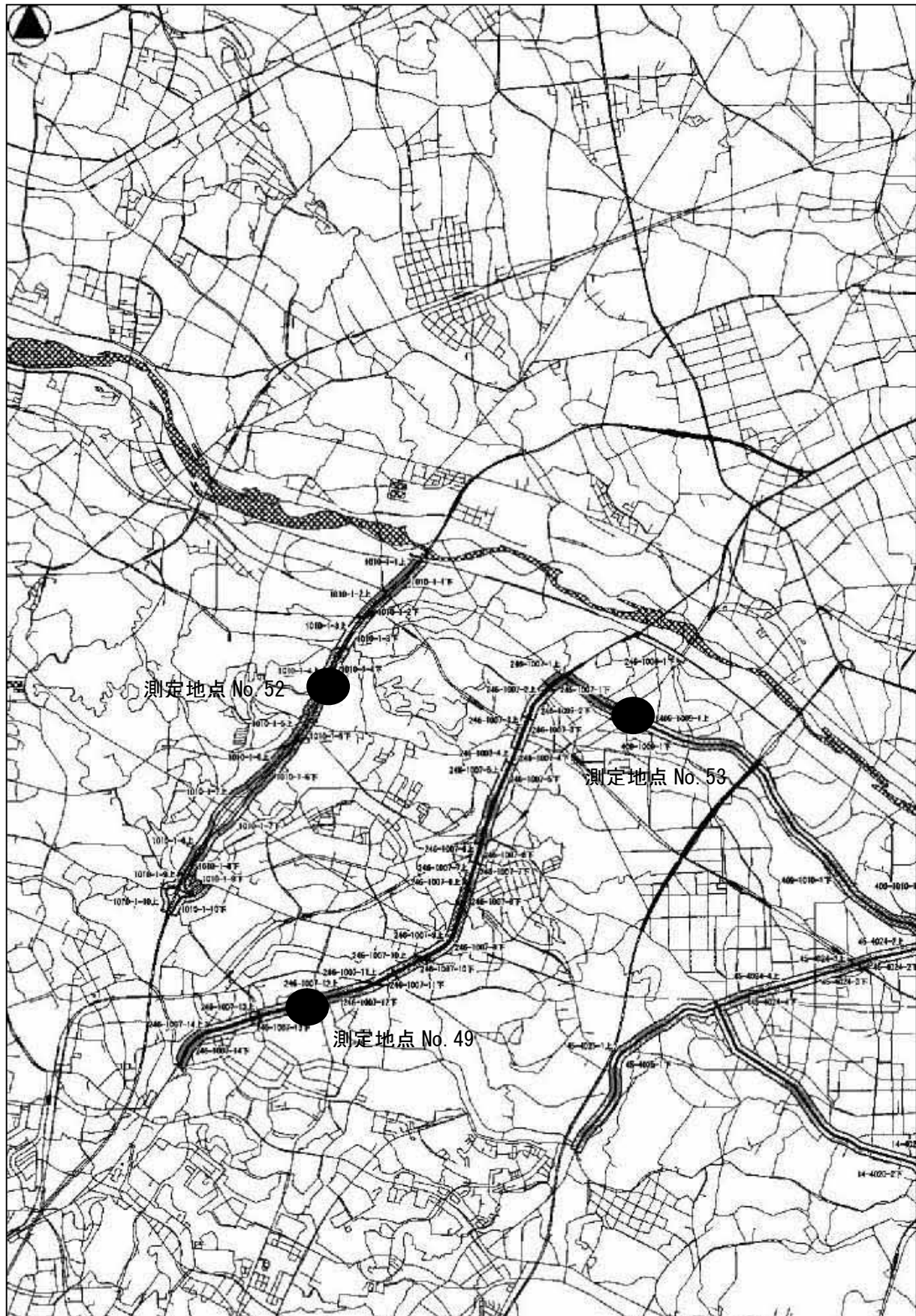
- ・ 平面図の縮尺は 1:1,500～1:2,500 程度とし、A 4 版サイズにまとめて下さい。
- ・ 平面図には、「騒音測定地点」及び「横断図作成面」を示して下さい。
- ・ 図面が大きい場合は、分割して可。

(2) 横断図

- ・ 平面図上に示した横断図作成面について、平面図の直下に配置するようにして下さい。（作成例参照）
- ・ 横断図の縮尺は 1:500～1:1000 程度（目安）にして下さい。
- ・ 騒音測定地点（基準点）と、測定対象となる道路の構造（横断図）を寸法と共に示して下さい。
- ・ 受音点の高さも併せて示すようにして下さい。
作成例を別頁に示します。

位置図（騒音測定地点、評価区間）

縮尺 1:50,000



〇〇県

測定地点番号 23	測定年度 2006	〇〇市〇〇町××丁目△△番地	測定地点番号 24	測定年度 2005	〇〇郡〇〇町大字〇〇
縮尺 1:2,500	評価区間番号 101001		縮尺 1:2,500	評価区間番号 101101	
<p>平面図</p>			<p>平面図</p>		
<p>横断面図</p>			<p>横断面図</p>		